


2023年12月14日

## 住友理工、電池サプライチェーンの国際競争力強化を推進する 関連団体「電池サプライチェーン協議会」に加入

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、電池サプライチェーン（電池の材料、部品およびその原料に関わる産業）の国際競争力強化を推進する団体「電池サプライチェーン協議会（以下、BASC）」（会長：只信一生・パナソニック エナジー株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO）に加入することを決定しました。これは、2021年4月1日に一般社団法人として設立された、脱炭素社会実現に向けて電池サプライチェーンの国際標準化や電池エコシステム構築等の活動を行う団体 BASC に当社が会員として参加するものです。

当社は、リチウムイオン電池（LIB）の安全性に寄与する部材として、電池セル間断熱材を手がけており、他に開発を進めている電池関連部材も合わせ、電池サプライチェーンの発展を通じて脱炭素社会実現に貢献するため、BASC の各参加企業・団体の皆様と積極的に研究開発に取り組んでまいります。




### 電池セル間断熱材

Heat Insulation for Battery Cell

#### 概要

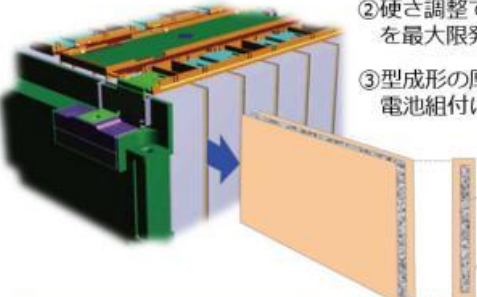
セル異常発熱時に、隣接するセルへの熱連鎖を抑制し、車輛火災に繋がる大事故を回避



セル ← 熱連鎖 → セル ← 熱連鎖 → セル

#### 製品の特長

- ①高断熱・高耐熱で省スペース化に貢献
- ②硬さ調整で電池性能を最大限発揮
- ③型成形の厚み精度で電池組付け性向上



高断熱塗料 (無機系)  
断熱封止材 (無機系)

セル間の狭小スペースに対応

電池セル間断熱材 紹介図

## <加入団体の概要>

- ・団体名称：電池サプライチェーン協議会（Battery Association for Supply Chain; BASC）
- ・形態：一般社団法人
- ・設立：2021年4月1日
- ・目的：電池サプライチェーンの健全な発展を図る
- ・会員：当社含めた電池サプライチェーン関連企業 177社（2023年12月1日時点）

住友理工グループは、経営 Vision「2029年 住友理工グループ Vision」にて、2029年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しました。今後も、当社グループは安全・快適の提供拡大に向けた技術の進化・融合を推進し、社会課題解決に貢献してまいります。

## <BASC 公式ウェブサイト>

<https://www.basc-j.com>

以 上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>